

# 川の生きものを調べよう

## 水生生物による水質判定

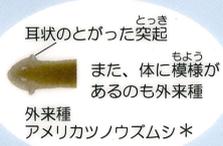
### I きれいな水



実物大

#### ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする  
中・下流部には外来種がいることがある



耳状のとがった突起  
また、体に模様があるのも外来種  
外来種  
アメリカツノウズムシ\*



#### ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている



実物大

#### カワゲラ類

体がかんじょうな感じがする  
石の下やすき間にいる

つめは2本 (カゲロウは1本)



×2.5 実物大

#### アミカ類

ふくめんきゅうばん  
腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている



×5 実物大

#### ブコ類

急流の岩や石に吸盤ではりついている  
集団をつくり、石が黒く見えることもある



#### サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、  
同じ種類である



#### ヘビトンポ

流れの速い石の下にひそんでいて、  
えものおそう



#### ヨコエビ類

上流の石の下や水中に  
たまった落葉の間にいる



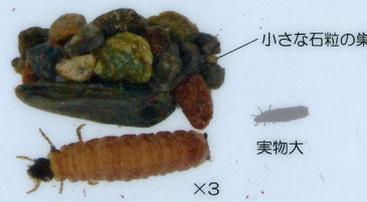
×2 最も後ろの足が、  
その前の足より短い  
外来種  
フロリダマミズコエビ\*



×3 実物大

#### ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



#### ヤマトビケラ類

流れの少しゆるやかなところの石面に多い



#### タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている  
流れの速いところにいる

I, II 両方でみられる水生生物  
(指標種ではない)

### II ややきれいな水



#### カワナ類

流れの少しゆるやかなところにいる  
外来種のコモチカワツボ\*は数mmと小型



#### コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



#### ヒラタドROMシ類

石の表面にはりついている



#### ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める  
体色は茶~黒色



#### ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところの  
石面にいる



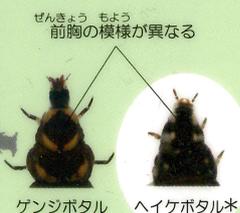
#### コガタシマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



#### ゲンシボタル

流れが少しゆるやかなところにいる  
カワナをえさとする



ゲンシボタル

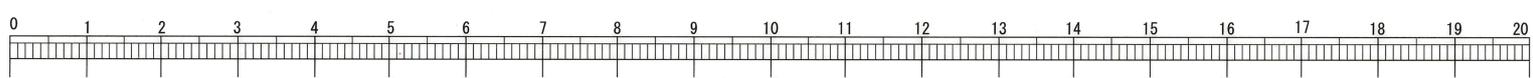
ハイケボタル\*



#### オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

\*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。



### III きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



実物大

シマイシビル

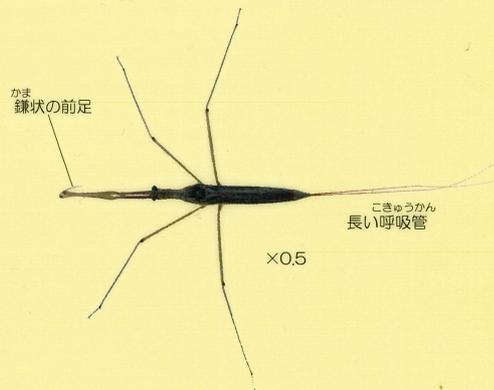
背中に縦縞模様がある  
伸びたり縮んだりする  
尾の先に吸盤がある



実物大

タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

### IV とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある  
流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き  
流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種  
流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対(4本)または1対(2本)のひも状のえらがある  
瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分(キチン板)がある

### 汽水域(海水が混じているところ)

#### II ややきれいな水



イシマキガイ

石や護岸にはりついている  
淡水域にもいる

ヤマトシジミ

砂や泥の中にある  
淡水域にはマシジミ\*や外来種の  
タイワンシジミ\*がいる

#### III きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいる  
さわると丸くなる

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にある  
河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

\*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。

